

「池田市行財政改革推進プランⅢ」を策定しました

本市では、「第6次池田市総合計画」におけるまちづくりの基本目標の一つとして「行財政改革を推進し希望の持てるまち」を掲げており、それを実現するための基本的な方向性を示した「池田市行財政改革指針」と平成30年度までを改革期間とする「池田市行財政改革推進プランⅡ」に基づき行財政改革を進めてきました。

しかし、今後高齢化による扶助費や公共施設の老朽化への対策に要する費用の増加など、本市財政は依然として予断を許さない状態にあり、市政運営に対してこれまで以上にスピード感をもって効率的に

取組を実施し、持続可能な行政の実現に向けた行財政改革を行っていく必要があります。

こうした状況を踏まえて、新たに平成31(令和元)年度から令和4年度までの4年間を改革期間とする「池田市行財政改革推進プランⅢ」を策定しました。

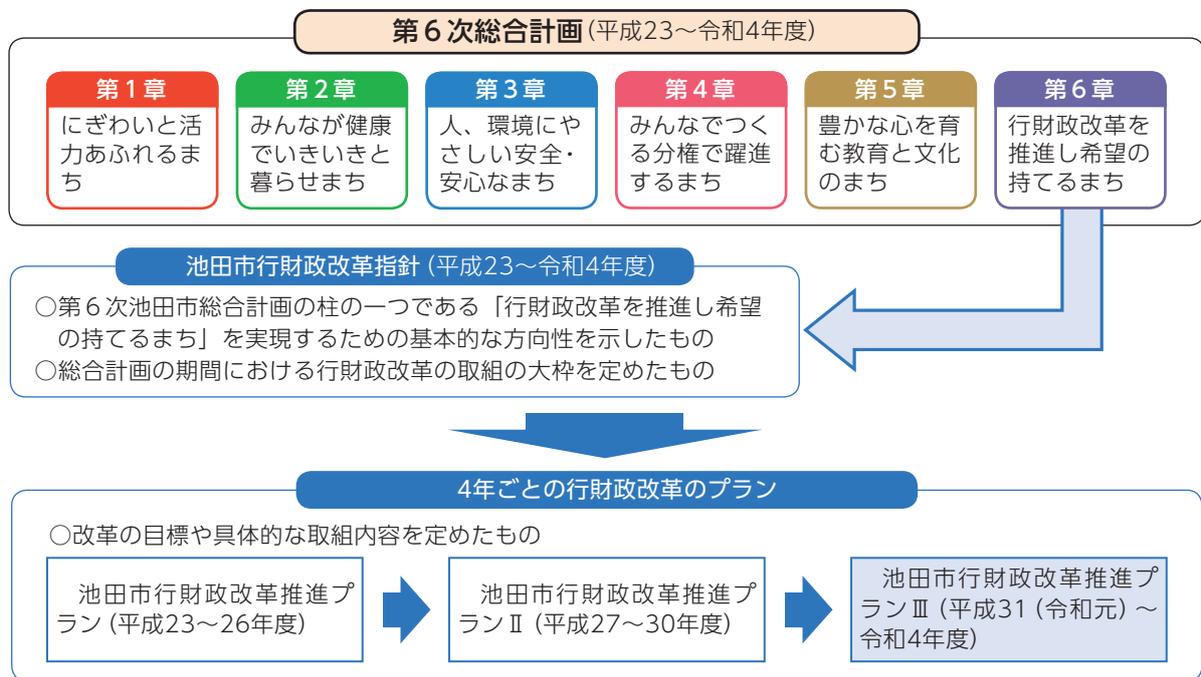
このプランに基づく行財政改革の取り組みを着実に遂行し、安定的かつ効率的な市政運営を可能とする行財政基盤の確立に取り組んでいきます。

同プランⅢの詳細は、市ホームページや行政情報コーナー(市役所2階)をご覧ください。

<行財政改革とは>

第6次総合計画の実施に必要な財源を確保するとともに、市民参画の機会の拡大や情報化の推進など市民に身近な市政を実現する取り組みのことです。

<本市の行財政改革の体系>



- 〈用語解説〉
- ・**経常収支比率**…地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するために用いられている指標のことです。税などに代表される経常的に収入される財源で使途が自由なもの(経常一般財源)のうちに、人件費、扶助費、公債費などの縮減が容易ではない経常的に支出される経費に充てられた合計額(経常経費充当一般財源)が占める割合のことをいいます。
◎経常収支比率(%) = [経常経費充当一般財源] / [経常一般財源] × 100
 - ・**財政調整基金**…経済不況などによる収入減や災害発生などによる支出増といった、年度間の財源不均衡を調整し、安定的な財政運営を行うために積み立てる基金のことです。
 - ・**標準財政規模**…地方公共団体が標準的な行政活動をするうえで必要な一般財源の規模をあらわしています。

市の話題のニュースやお得情報をお届けします。



<池田市行財政改革推進プランⅢの概要>

改革期間

平成31(令和元)～令和4年度の4年間

改革の目標

改革期間内の目標

●財政調整基金^{*}残高 令和4年度末20億円以上

収支見通しとしての令和4年度末の財政調整基金^{*}残高は11億7,200万円で、昨今自然災害の頻発化を踏まえ、標準財政規模^{*}の10%相当である金額として目標を設定しました。

●経常収支比率^{*}90%台

令和2年度からの会計年度任用職員の制度施行による期末手当の負担増に伴い、これまでの目標を維持しました。

●実働職員数(一般会計)600人程度

行政ニーズの多様化のみならず、地方分権化以後も広域化や官民連携等業務量の増加、業務内容の複雑化・困難化が進むなか、サービスの質の維持・向上を図るために最低限必要な人員として設定しました。

●良質な市民サービスの確保のための「働き方改革」の推進(職場環境の整備)

人口減少により職員数が半数となっても、行政サービスを維持できるよう、職場環境の整備、AIなどの新技術導入や業務見直しを実施することにより、持続的な生産性向上の実現をめざすものです。



中期目標(平成27～令和4年度)

安定的な財政構造の確立(臨時財源補填をせず形式収支黒字化)

改革の推進事項・実施プログラム

総合計画に基づく次の4項目の施策について、各部署が重点的に取り組む項目と具体的な取組内容を定めています。市民サービスの質の確保を最優先し、限られた人員と財源とを効率的に活用することを念頭に改革を推進します。

(1) 開かれた市政の推進 (2) 健全な行財政運営の推進 (3) 広域行政の推進 (4) 情報通信技術の活用

目標達成のために



これまで、量と質の両面から行財政改革に取り組み、一定の成果をあげてきましたが、今後の高齢化による扶助費や公共施設の老朽化対策費用の増加、少子化による人口減少などに対応するため、同プランⅢに新たに以下の2つの視点を加え行財政改革の取り組みを推進していきます。

(1) 効率的で持続的な視点に立ったまちの活性化の推進

中長期的な視点に立ったまちの活性化を図る取り組みに行財政改革からアプローチし、定住人口の増、持続可能な行政の実現につなげます。

(2) 表記の分かりやすさの工夫(用語解説の設定含む)

市民一人ひとりへの浸透をめざし、親しみやすさの追求、行財政改革の状況や取り組みについての理解を促進、プランそのもののわかりやすさを徹底するため、わかりづらいと考えられる用語に対して解説を作成しています。

<※印がついた用語はプランⅢではP34のように用語解説を掲載しています。>

問 行財政改革推進課 ☎754・7003

オリンピックまで、あと450日

令和2年7月24日(金)から「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。本市はロシアの男子バレーボールとフランスのウィルチェアーラグビーのホストタウンとして登録されており、大会前のキャンプ地として、最終的な準備や調整が行われる予定です。大会前から大会後までを通じて、市内の各種団体とも連携しながら、スポーツはもちろん、文化面などにおいても幅広い交流などを実施します。

7月から改修工事を開始 「総合スポーツセンター」

今回の事前キャンプ地としても使用される総合スポーツセンター。同センターをより安全で利用しやすい施設にするため、耐震化・改修工事を7月から始めます。体育室の空調設備や床改修をはじめ、更衣室やトイレなどのバリアフリー化などを進めます。利用者の皆さんには、工事期間中ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

“東洋の魔女”ってご存じですか？ ダイハツなどが自叙伝を寄贈

昭和39年に開催された前回の東京オリンピックで、“東洋の魔女”と呼ばれた女子バレーボールの全日本チーム。金メダルを獲得した同チームのスパイカーで、本市出身の谷田絹子さんが昨年の秋に自叙伝『私の青春 東洋の魔女と呼ばれて』を出版されました。そこで「ぜひ、当時から知らない若い人たちにも谷田さんのことを知ってほしい」と、ダイハツ工業(株)と日清食品ホールディングス(株)、池田ライオンズクラブから同書(220冊)の寄贈がありました。市内の小・中学校をはじめ、図書館や中央公民館などの社会教育施設に設置していますので、どうぞご覧ください。
※まだ残部がありますので、同書設置を希望する店舗や施設などがあれば、ご連絡ください。



☎ 生涯学習推進課 ☎ 754・6295

市立池田病院で出産を!

市立池田病院では、「安全で安心できるお産」をより多くの方に提供するため、「はぐくみ はばたけ いけだ Baby プロジェクト」として、さまざまな取り組みを行ってきました。

(主な取り組み)

- 出産費用の見直し(市民の方で42万円程度からの出産が可能)
- 小学生以下の子どもの面会制限の緩和
- 同院1階総合待合ホールに妊婦さん専用窓口(スマートレーン)の設置
- 分娩予約相談窓口の設置

(今後の取り組み)

- 産科病棟の美装化により、快適な出産環境の整備を実施
- 「お祝い膳」の提供を開始(5月9日(木)以降に同院で出産をした方が対象)
- 出産記念品の充実

☎ 医療管理課 ☎ 751・2881

